独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター

病院名・診療科名・研修プログラム名

国立病院機構栃木医療センター・内科・内科専門医プログラム
/総合診療専門医プログラム

住所・ホームページアドレス・連絡先メールアドレス

住所：栃木県宇都宮市中戸祭1丁目10番37号
ホームページ：http://www.tochigi-mc.jp/recruit/doctor_naika_kouki.html
連絡先：mkobayashi@tochi.hosp.go.jp

指導医名・記載者名

内科部長：上原慶太
プログラムディレクター：矢吹拓
記載者：小澤労

科の目標としている医師像

①　ジェネラリスト・スペシャリストが一体となった内科診療
総合医・各専門医は内科医としての共通基盤を重視し、常に診療、カンファレンス、勉強会等を合同して行っております。それぞれの専門性を共有しながらも、最新の内科診療を目指し切磋琢磨しています。
②　病歴・身体所見・診断プロセスを重視した内科医
入院・外来症例のカンファレンスを通して経験を共有し、病歴・身体所見を重視した臨床推論を学べます。また、診断プロセスの振り返りも定期的に行い、その共有・向上にも力を入れています。
③　多彩な診療の場で活躍できるジェネラリスト
病棟入院診療だけでなく、初診・再診・救急外来・訪問診療などの多彩な診療場面の経験を通して、どんな地域でも通用するジェネラルな内科医を育てます。また、検査・手技なども各専門医に指導を受けながらスキルアップできます。

スタッフ人数

19名
　総合内科9名、循環器内科5名、消化器内科5名。
　男女の内訳：男性17名、女性2名

後期研修医数

11 名
当院の研修プログラム所属は 9 名、他プログラム所属は 2 名。
男女の内訳：男性 8 名、女性 3 名

当直

月３−４回
主に内科二次救急対応が中心で、指導医と 2 人体制で当直します。
当直明けの帰宅：基本は不可ですが、仮眠をとってもらうなどの配慮はあります。

診療科独自の病床数

約１１０床。年間平均で９０床程度が稼働していますが、多い時は１３０床程度稼働します。

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

当院では特にカンファレンスや勉強会を重視しており、日々多彩な切り口で多くの学びの機会を提供しています。実際の症例を通した学びだけでなく、知識や最新のエビデンスを自然に学ぶことができます。

- **内科カンファレンス（週２回）**
  毎週月・木曜日の１７時半〜１９時開催。
  主に入院症例の中で、内科全体で相談が必要な症例、または教育的な症例についてプレゼン、ディスカッションを行います。
  当科では症例を積極的に共有する文化があり、レジデントを交えて非常に活発なディスカッションが行われます。

- **外来カンファレンス（週２回）**
  研修期間を通じて、総合内科外来初診と自身の再診を各週 1 回ずつ継続して経験を積みます。また初診・再診での受け持ち患者についても、週１回の外来カンファレンスを通して指導医より指導を受け、外来診療の基本を学びます。

- **論文抄読会**
  毎週内科医が各自読んだ論文を共有し、概要を紹介し合う抄読会を開催しています。主に BMJ/JAMA/Lancet/NEJM/ACPJC などの主要医学雑誌から論文を選定しています。指導医が提示するだけでなく、専攻医も積極的に参加することで、最新の知識を得ることのみならず、医学論文の読み方や基本的な批判的吟味などを学ぶことができます。
  日常的に最新論文に触れられ、自分でも論文を読んで共有することができます。

- **MKSAP 勉強会（週１回）**
  MKSAP（Medical Knowledge Self-Assessment Program）はアメリカ内科学会（ACP：American College of Physician）が出版している質の高い問題集 で、参加者が問題に解答し解説を読む形式で毎週学習していきます。　参加者全員でその場で問題を解いていき、解答解説を読んでいきます。

- **クルズス（月２回）**
  American Family Physician（AFP）に掲載されているプライマリケア向けの総説論文を軸に、外来診療の minimal requirement の獲得を目標に年間約５０～６０個のテーマを取り上げ知識の定着を図っています。勉強会で使用した資料はすべて Dropbox で共有しており、いつでも閲覧可能となっています。

- **臨床推論症例カンファレンス（週１回）**
  経験症例や NEJM の Clinical Problem Solving 症例を題材に、病歴・身体所見を提示し鑑別診断を挙げ思考過程を共有することを重視したカンファレンスです。
  後期研修医が積極的にディスカッションに参加し、大変人気があるカンファレンスです。コモンな疾患であっても、診断にたどり着くまでの思考過程やマネージメントを共有できるため知識を深めることができます。

- **後期研修医振り返り（月１回）**
  一ヶ月に一度、施設を越えて研修連携機関の研修医・指導医が集まり、一ヶ月間の出来事、課題、Next step などを共有している。

- **栃木 GIM カンファレンス（年３回）**
  栃木県内の総合内科・総合診療系医師の症例検討カンファレンス。獨協医大、自治医大、済生会宇都宮病院、栃木医療センターなどで合同で定期的にカンファレンスを開催し、施設間での学びを深めています。

- **ポートフォリオ発表会（年４回）**
  家庭医療・総合診療の集まりとして、プライマリケア連合学会の家庭医療後期研修プログラム同士が連携して、定期的にポートフォリオ発表会を開催しています。

具体的な研修内容紹介

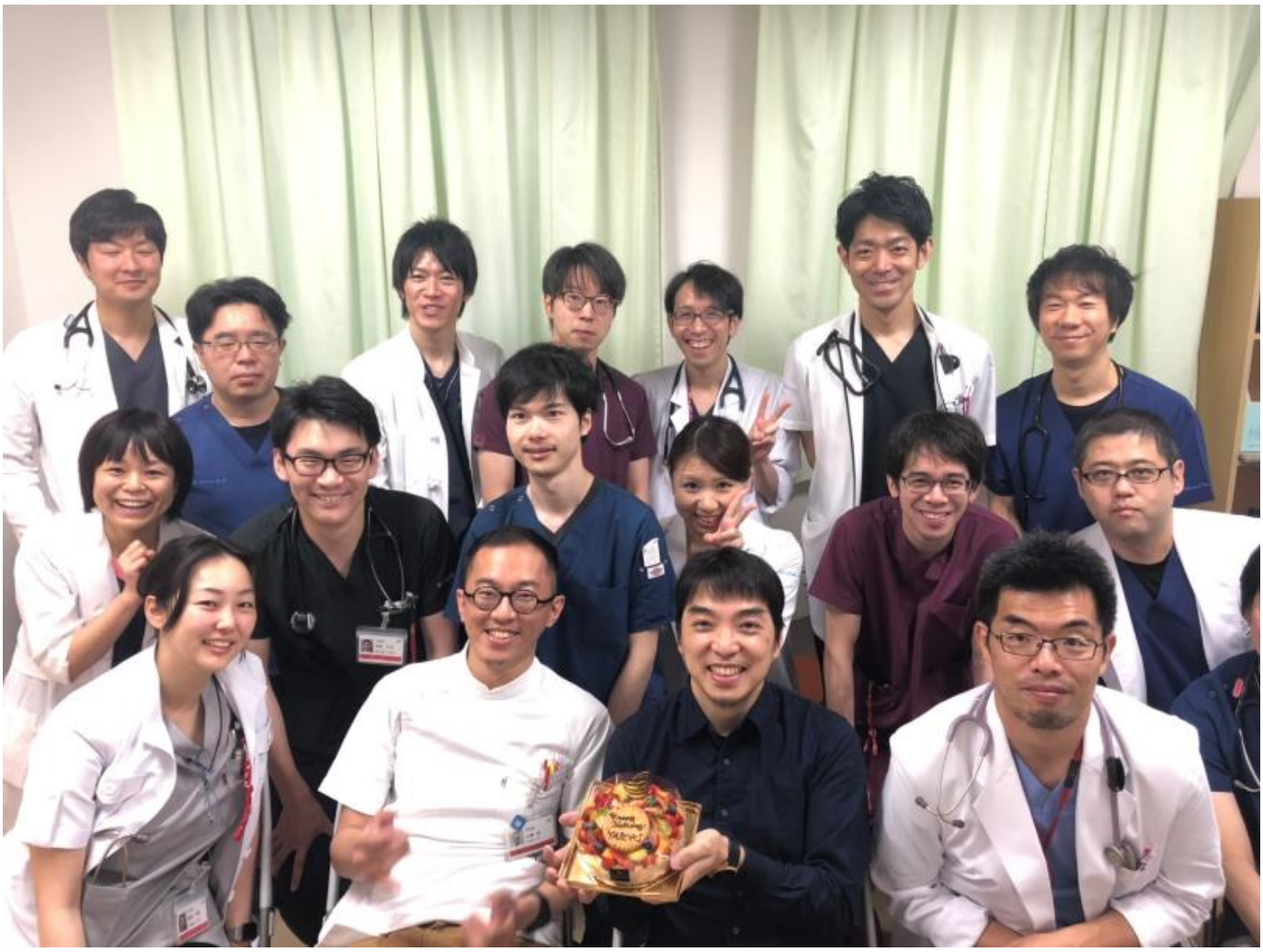
- 外来
  内科初診外来、内科再診外来（週１コマずつ）初診５症例、再診１５症例/回程度です。

- 入院
  入院症例の管理を行います。基本的に外来や救急・当直から自分で入院とした患者さんの入院管理が中心です。受け持ち患者は平均 10 症例程度になります。

- 救急
  ２次救急当番が週に１−２コマほどあります。

- 検査・手技
  内視鏡検査（上部・下部）、超音波検査（腹部、心臓、頚部、四肢等）、グラム染色、各種穿刺（胸水・腹 水・髄液・心嚢液・関節・骨髄等）、各種生検(肝臓、骨髄等)、中心静脈カテーテル、胃瘻造設、心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術、ペースメーカー留置術など。

その他・自由記載

私たちは各専門内科の垣根を超え、日々のディスカッションを大事にしながら切磋琢磨診療しております。
EBM を重視した診療だけでなく、家庭医療専門医５名とともに患者中心の医療の実践、またデスカンファレンスや院内システムの質改善（Clinical Quality Improvement）などの他職種を交えた多彩な活動をどんどん行なっております。
ぜひ一度当院に見学に来ませんか？

また勉強会やカンファレンスの記録をブログにしております。
http://tyabu7973.hatenablog.com
宇都宮で皆様をお待ちしております！